

年間指導評価計画

教科名 理 科 学年 1 年

月	内 容 (時 間)	時間	評 価 規 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ～ 7	1. いろいろな生物とその共通点 ①生物の観察と分類のしかた ②植物の分類 ③動物の分類	26	植物や動物をなかまごとに分類し、それぞれの特徴を理解することができる。ルーペ、顕微鏡、双眼実体顕微鏡を正しく使用し、スケッチなどの記録やレポートをまとめることができる。	植物や動物のつくりやはたらきなどの共通点・相違点をまとめ分類することができる。身近な生物についての観察、実験などを通して、色々な生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現することができる。	校庭周辺の生物に関心を持ち、意欲的に調査・観察することができる。生物の観察と分類の仕方に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。花のつくりとはたらきや植物・動物の分類に関心を持ち、意欲的に観察することができる。
9 ～ 11	2. 身のまわりの物質 ①身のまわりの物質とその性質 ②気体の性質 ③水溶液の性質 ④物質の姿と状態変化	27	物質の密度や状態変化、融点、沸点、気体の性質など、純粋な物質固有の性質を理解することができる。水溶液では、溶質が均一に溶けていることを理解することができる。密度や電流の通りやすさ、状態変化、気体の発生などについて、器具や薬品を正しく使用して、安全に実験することができる。	物質の溶け方、気体や水溶液の性質などについて、実験結果をまとめることができる。また、実験をして分かったことを記録し、考察することができる。身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現している。	物質の密度や状態変化、気体の発生について関心を持ち、日常生活と関連付けて、意欲的に取り組むことができる。身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
12 ～ 3	3. 身のまわりの現象 ①光の世界 ②音の世界 ③力の世界	26	光の反射・屈折・凸レンズのはたらき、音の高低・大小などを理解することができる。2 力のつり合いを理解し、計算をすることができる。実験の目的をしっかりと理解し、器具を正しく使用して観察・実験することができる。	身近な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現している。また、データを整理して、考察することができる。	光や音、力のはたらきを日常生活と関連付けることができる。身のまわりの現象に関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
4 ～ 3	4. 大地の変化 ①火をふく大地 ②動き続ける大地 ③地層から読みとる大地の変化	26	提示された手掛かりをもとに、地層のできた年代や環境を考え、説明することができる。地球規模でプレートの動きを考えることができる。地層の重なり方や岩石の特徴を捉えることができる。また、スケッチなどの記録やレポートをまとめ、岩石の種類を区別することができる。	火成岩・堆積岩をもとに、岩石のでき方とその特徴をレポートにまとめ、考察することができる。大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現している。	日本にある火山の形や岩石のでき方を考え、意欲的に取り組むことができる。地震の伝わり方やそのしくみを実際の体験から考えることができる。大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
主な評価方法			実験観察態度、ワークシート、スケッチやグラフ、小テスト、定期考査など	ワークシート、レポート、話し合い活動や発表、小テスト、定期考査など	授業態度、宿題・ワークシート等の記述、自由レポート、発言など